

平成31年度



白川小だより

第9号

令和元年11月29日(金)

互いを認め合うこと

～「よいことみつけ」の取組～

校長 奥村 哲也

「今日のよいことみつけです。秋祭りのとき、さんが大きくはっきりした声でしゃべっていたので、ぼくもまねしたいです。1年生、さんからでした。次です。3時間目に計算の説明をするとき、さんが大きな声で説明していたので、クラスみんなが大きな声で言えるようになってよかったです。4年生、さんからでした。…」

お昼の放送で、「みんなのよいところ」が流れます。仲間の「よいところ」をカードに書いて専用の箱に入れると、そのカードがお昼の放送で紹介されます。放送を担当する「けやき委員会」の活動です。

「よいところみつけ」は、各学級でも年間を通して取り組んでいます。仲間のよいところを帰りの会で紹介したり、星形をした「かがやきカード」に書いて掲示したりしています。4・5年生教室のかがやきカードの掲示(写真右上)はいっぱいになりました。6年生は掲示用の台紙が2枚目です。



11月27日の全校朝会で、くすのきしげのりさんの絵本『ええところ』を紹介しました。主人公の「あいちゃん」は、背が低くて走るのも遅くて、100点なんて1回もとったことがありません。「わたしって、ええところ、ひとつもないなあ」と友だちのともちゃんにつぶやきます。するとともちゃんは、一生懸命考えてあいちゃんのいいところをみつけてくれました。けれど、そのいいところがなくなってしまいます。涙を流すあいちゃん。でもともちゃんは、あいちゃんのもっといいところを見つけてくれました。最後のページには、「わたしもほかのこのええところをみつけんねん。」と言いながら元気よく走り出す「あいちゃん」の姿が描かれています。出版社の言葉を借りれば、「思いやりと自己肯定感を育てる、こころが元気になる物語」です。

「自分にはいいところがあるんだ」という思いから、元気が生まれます。「〇〇さんにはこんないいところがあるんだ」と仲間の良さを認める姿から、やさしさが生まれます。互いに認め合う心を大切にしたいと思います。

12月10日は「世界人権デー」で、12月4～10日は「人権週間」です。学校では「ぼかぼか集会」や「人権学活」などを行い、互いを認め合い大切にしていこうとする気持ちをさらに高めていくことができるよう取り組みます。ご家庭でも、お子さんのよさをいっぱいみつけて、いっぱい伝えてあげてください。